

かながわの

学びづくりプラン

「かながわ学びづくり推進地域」におけるこれまでの実践

～ かながわ学力向上シンポジウムから ～

平成 20 年度から開始した「かながわ学びづくり推進地域事業」も平成 24 年度で5年目を迎えました。今までの学力向上シンポジウムの内容や各学校の実践をまとめました。

【平成 19 年度】

- 全国学力・学習状況調査（横浜市、川崎市を除く神奈川県）の結果分析
 - ・神奈川の子どもたちの「学ぶ力」の基礎を育てるには、「規範意識や基本的な生活習慣の確立」と「家庭学習の習慣化」が大切である。
 - ・学力の向上には「知・徳・体」のバランスのとれた育成と様々な経験・体験活動を充実する必要がある。



【神奈川県検証改善委員会】

【平成 20 年度】

- 全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙、学校質問紙調査の結果分析
 - ・「家庭・地域と連携した指導の充実」「家庭学習の推進」「教員の研修の充実」「支援教育の推進と充実」などが課題である。

【かながわ学力向上支援連絡協議会】

【平成 21～22 年度】

○「かながわ学びづくり推進地域事業」の充実

分かる授業の視点からの取組

- ・身に付けさせたい力の明確化と学習計画の設定
- ・子どもの実態に応じた学習課題や学習形態の工夫
- ・言語活動の充実
- ・学習過程の見えるワークシートの活用

研究協議を活性化するための取組

- ・校種を超えた学習指導案づくり
- ・小グループによる研究協議
- ・写真や時系列の授業記録の活用

授業参観の工夫

- ・授業者が参観してほしい学習場面の時間帯を知らせ、お互いの参観
- ・授業研究日の定期的な設定



平成 23 年度は、学びづくりの推進地域が 10 地域に拡大され、次のような取組が展開されました。

1 考える力を育てる、質の高い授業づくり

子ども一人ひとりが「学ぶ喜び」「学ぶ楽しさ」を実感できるように、次のような視点を大切に
して取り組んでいます。

知識・技能・考え方の位置付け

○子どもが問題解決を進める時の知識・技能・考え方の視点



- ①与える …問題解決に必要な既習の知識・技能・考え方を教師が与える授業展開
- ②つくる …どのような既習学習を使えばよいかを考え、見通しを共有し、課題解決を図る授業展開
- ③まかせる…子どもたちが考える見通しを立て、問題を解決していく授業展開

「話し方・聴き方シート」の教室掲示

- ・しっかりと自分の考えを伝える話し方
- ・よりよい発言・発表の仕方
- ・友達の発表の聴き方や考えの受け止め方
- ・考えを受け止めた後の発表の仕方

【例・円の直径の長さと同周の長さの関係】

直径1cmのとき $1 \times 3.14 = 3.14$ (cm)

直径2cmのとき $2 \times 3.14 = 6.28$ (cm)

.....

直径□cmのとき $\square \times 3.14 = \bigcirc$

直径xcmのとき $x \times 3.14 = y$

文字を使い、2つの数量関係を式にします。

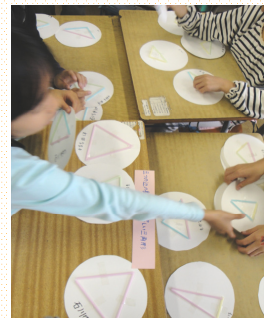
科学的な視点からの授業構成

- ↓
- 具体（模型・絵等）
 - 半具体（図形等）
 - 抽象（数式等）

わかる授業につながる問題解決学習の工夫

○子どもがつまづいているプロセスの把握とその指導

- ・問題文の理解
- ・問題解決のための方策
- ・既有知識との関連
- ・立式・計算・作文・製作



言語活動を基にした思考力を高める授業づくり

- ・学習状況の把握と課題分析
- ・自己肯定感を高める活動
- ・リフレーミングの視点による授業
- ・学習支援の充実

道徳教育の充実

○指導方法の工夫

- 導入 → アンケート調査の活用
- 範読 → パネルシアター、紙芝居、効果音
- 展開 → 子どもの心情を揺さぶる発問、
役割演技を活用して心情を語る
- 終末 → 教師の説話、自分への手紙書き、
ゲストティーチャーの活用



○自作資料の活用

2 校内研究会の充実

教員同士の学び合いに焦点を当て、次のような視点から研修の充実を図っています。

事前検討会の実施

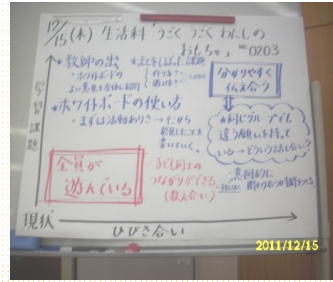
- 模擬授業を通しての検討
- 全職員、学年、ブロック、教科等による検討
 - ・学習指導案
 - ・発問の吟味
 - ・板書の在り方
 - ・グループ活動の展開
 - ・言語活動

よりよいものを創りあげようとする職員のチームワークが大切。

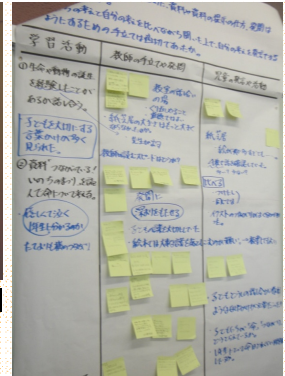
研究協議の持ち方

- 研究協議の視点の明確化と工夫
 - ・研究協議のメンバー構成の工夫
 - ・模造紙や付箋紙、拡大指導案の活用
 - ・授業記録やビデオ、写真の活用
 - ・ワールド・カフェ方式による研究協議
 - ・ファシリテーターによる協働促進

【研究協議の例】



【2つの視点の関係性を基に】



【学習指導案を基に】

- 授業参観と研究協議の参加体制づくり

- ・校種を超えた教職員
- ・当該学級の子ども
- ・他学年の子ども
- ・保護者、地域の方

研究協議の生かし方

- アンケートの実施

※校内研究会における自身の振り返りと研究会の意義の再確認

- ・授業力の向上を図る上で、有意義な研究会であったか。
- ・実践意欲が高まる研究会であったか。
- ・子どもたちの学力向上に向けて、工夫していることは何であるか。

- 研究協議における学びの言語化

- ・授業者→「改善案」の作成
- ・参加者→自分の実践に照らし合わせた「自己の授業への示唆」のまとめ

3 人間関係づくりの推進

児童・生徒の心の安定、学級全体で学習に取り組む環境づくりも学びづくりの大切な視点です。

児童・生徒指導を中心とした授業づくり

- アセスメントを活用した学級づくりと学力向上
 - ・学級の実態把握と人間関係づくり

- 「学びの構え」の定着

- ・学習環境の整理整頓
- ・チャイムと同時の授業開始
- ・真剣な授業への参加
- ・指名されたときの返事
- ・家庭学習の推進



4 家庭・地域との連携

子どもの「生きる力」を育むためには、学校・家庭・地域が連携し、社会全体で取り組むことが大切です。

<h3>家庭との連携</h3>	<ul style="list-style-type: none"> ○学校における子どもの学習状況の説明 ○生活習慣の改善（生活記録の活用） <ul style="list-style-type: none"> ・「起床時刻」「朝食の摂取」 ・「家庭学習開始時刻」「就寝時刻」の点検 	<h3>○家庭学習の支援</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習の手引きの作成 ・家庭での学習計画の立て方に焦点を当てた指導 ・子どもの学習計画、つまずき等の指導
<h3>地域との連携</h3>	<h3>○学校支援ボランティアとの連携</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの基礎学力の向上 ・挨拶運動 ・読書に親しむ態度の育成 ・環境整備 	<h3>○学校や地域の行事に関する情報交換</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会 ・学習発表会 ・地域清掃 ・安全パトロール

5 幼稚園、小・中学校との連携

学校では子どもの発達の段階に応じた学習環境の整備や学習活動の工夫を図るなど、スムーズな接続に努めています。

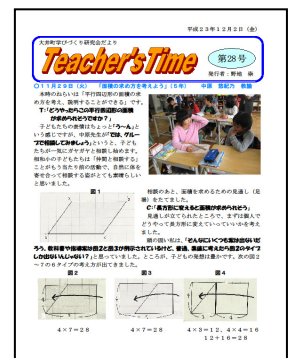
<h3>教育内容の系統性を重視した連続性のある学習活動</h3>	
<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の教科書1セットを幼稚園や中学校へ配付 ・「フリプリー算数・数学 振り返りプリント集ー」の活用【秦野市】 ・中学校理科教諭による「理科わくわく教室」（年間9回）の開催【秦野市】 	
<h3>発達の段階を踏まえた指導計画の作成</h3>	
<ul style="list-style-type: none"> ・指導の重点の作成 ・各校の道徳全体計画・年間計画の検討 	

6 学びだよりの発行

校内研究の推進を目的として研究会だよりを発行しています。研究会だよりでは研究授業の記録（成果、課題、助言等）をまとめたり、今後の研究の方向性を確認したりしています。また、近隣の学校間で研究会だよりを交換することにより、他校の実践を取り入れるなど、学びづくりの活性化につながっている学校もあります。



【校内研究会だより】



【教育委員会だより】

平成 24 年 6 月発行 問い合わせ先 神奈川県教育委員会教育局支援教育部子ども教育支援課
〒231-8509 横浜市中区日本大通 33 電話(045)210-1111 (内線) 8217